

株式会社 東宝映画

社会学部経営社会学科

1年 物江 雄樹

1. 実習企業（団体）の概要

1971年11月東宝株式会社撮影所製作部、および企画部が中心となり設立された映画の製作プロダクション。東宝株式会社の前身である「P.C.L映画製作所」が現在の東宝スタジオ（世田谷区成城）で映画製作を開始して以来、その歴史と伝統を受け継ぎ、設立から39年間で160本を超える作品を製作し、幾多の名作・ヒット作を生み出してきた。昨今、メディアの進化と多様化、インターネットの高速化が進み、生活の中での「映像」のあり方や楽しみ方自体が大きく変容する中、より外に開かれた製作会社を目指している。

- ・設立 1971年11月8日
- ・資本金 1億円
- ・従業員数 25人
- ・所在地 東京都世田谷区成城 1-4-1
- ・取締役 佐藤 毅

2. 実習内容

エキストラさんの誘導や受付、ペットボトル飲料や弁当、熱中症対策の冷却剤や塩分を含んだ飴の配布、一般の方々への対応（球場を貸し切って撮影している為、敷地内に一般の方々が入らないようにする）楽屋控え室の掃除や整頓、撮影休憩時に俳優さんやスタッフの方とエキストラの方に飲み物配布、ケータリング作り、案内看板作り、「カット」「テスト」「本番」などのコール。

3. 実習の成果

多くのことをこのインターンシップを通じて学びました。身についたスキルは大きく分けて二つあります。一つ目は「コミュニケーション能力」です。なぜならその日その日で業務内容が異なるため、自分のやるべきことをしっかり聞いて行動に移し、それが終わったら他にやることはあるかスタッフの方に聞く必要があります。それだけでなく、約1000人のエキストラの方が気持ちよく撮影に臨めるよう丁寧に失礼の無い態度で誘導や受付をする必要があるからです。二つ目は広い視野で周りの変化や要請に素早く反応するための「洞察力」です。スタッフの方が今必要としている物を今持って行くのでは遅く、必要とした際に渡すことが出来なければなりません。そのためには常に観察して準備をしておかなければなりません。また、約1000人のエキストラの方が暑期中撮影に協力して下さっているため、体調を崩される方も出てくるので、その変化にいち早く気づき対応しなければなりません。これらのことから二つのスキルが常に求められることがわかり、身につけ発揮できるよう努めました。

4. 実習の感想

今回参加させていただいた映画「青空エール」のインターンシップを通じて短い期間とは思えないほどとても充実し、貴重な体験をさせていただきました。約1000人のエキストラの方たちのロケ地引率を担当した際はあまりの人の多さに頭が真っ白になりました。また、連日暑い中、早朝から夜まで撮影を行い力仕事などもあったため疲れでへろへろになったりもしました。ですが、それ以上にスタッフの方々に指導していただき任された仕事を行なう時の楽しさや終わった時の達成感の方が遙かにそれを上回りました。上記にも書かせていただきました「コミュニケーション能力」と「洞察力」をこのインターンシップを通じて身につけることが出来たと思いますので、ここで身につけた力をここで終わりにせず、普段の生活においても発揮しこの貴重な経験を無駄にせず活かしていけるよう意識して生活をしていこうと思います。

— 実習プログラム —

日数	実習日	実習内容
1日目	5月2日(月)	現場見学、弁当の分配とケータリングの盛り付け、ドリンク作りと配布、控え室等の掃除
2日目	5月4日(水)	現場見学、弁当の分配とケータリングの盛り付け、ドリンク作りと配布、控え室等の掃除
3日目	5月5日(木)	現場見学、弁当の分配とケータリングの盛り付け、ドリンク作りと配布、控え室等の掃除
4日目	5月8日(日)	現場見学、弁当の分配とケータリングの盛り付け、ドリンク作りと配布、控え室等の掃除、エキストラ引率
5日目	5月14日(土)	現場見学、弁当の分配とケータリングの盛り付け、ドリンク作りと配布、控え室等の掃除、エキストラ引率
6日目	5月15日(日)	現場見学、弁当の分配とケータリングの盛り付け、ドリンク作りと配布、控え室等の掃除、エキストラ引率
7日目	5月21日(土)	現場見学、弁当の分配とケータリングの盛り付け、ドリンク作りと配布、控え室等の掃除、エキストラ引率